

畑からのご挨拶

本日の野菜&果物

小松菜	戸塚	岡本さん	アスパラ	新潟	南雲さん
キュウリ	鎌倉	大平さん	ブロッコリー	新潟	田中さん
人参	長崎	堀さん	トマト	熊本	澤田さん

ブロッコリーは殺菌1回、他は栽培中農薬・化学肥料は使用していません

いよいよ梅雨入りと共に田んぼは田植えの時期となりましたが、みなさ～ん、お変わりありませんか～?! 何はともあれ体だけは大事にしてくださいね～♪(昔よく聞いたフレーズ)

ところで皆さん、今年の春は戦後最高の「暖春」ということが気象庁のまとめで分かったそうです。「暖春」聞きなれない言葉ですが…関東地方では三～五月の平均気温が平年を2.3℃上回り、1946年以降の統計で最高となったそうです。さいこ～うで～す! 最高…もともとはいい言葉なんだろうが…この場合はどうなんだろうね…???

矢島の旦那が先日こんなことをぼやいていました。「あ～あ、もう百姓もやりにくくなり、このまんまじゃやってられないよ!」「おじさん、なにぼやいてんの、なんか嫌なことでもあった」「天気が変わっち全くよめなくなっちゃたよ。五月からしょっちゅう夏日だよ夏日、これじゃ日本の四季なんて風流なもんは無くなり、半分は夏だよ。考えてみなよ5月～10月迄夏日になると半年だよ・半年。それで一定の天気でおさまってくれるんならいいけど、夏日の次の日は急に冷え込んだりと、気温の変化も激しいし、これじゃ畑の野菜も思うように育たないよ」

「そうだよな～、人も体調崩すけど、野菜も生き物だし調子狂うよな～」「それに雨の降り方や風の吹き方もだいぶ違ってきたよ。雨も前みたいにシトシトピッチャンではなくスコール型というか、降り方がきついな。今年の春人参なんかほとんど割れて、まともなのは1割程度だよ。俺は強い雨で叩かれたからだと思ってんだ」「露地栽培はきついな～天気の影響をまともに受けるしな～」「近所の農家仲間もこれから露地栽培は考えもんだと真剣に悩んでるよ」

皆さんもここ数年の天気の変化は肌で感じ「ちょっとおかしい」と思っていることと思いますが、農業は天気が直接影響します。昨年から今年にかけてのキャベツや白菜の大不作。それに伴う高価格。今年の暖春による葉物野菜の大暴落価格と皆さんの家計にも直接影響を与え、たかが天気…されど天気で天気・気候は人間社会に大きな影響力があります。

今心配なのは、この不安定な天気が当たり前になり、毎年このような天気になると、まわりまわって天気同様性活も不安定になるのでは…と要らぬ心配をしています。欲しいものが手に入りやすくなる時代が近づいて来ているのでしょうか…明るい未来・期待していますよ～♪

6/11お届け予定

きゅうり・なす又はいんげん
玉ねぎ・サクランボ

6/18お届け予定

枝豆・新じゃが芋・ピーマン・南瓜 1/4
いんげん又はなす・トマト